科目名	学年	単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
英文法 II: English Grammar II	2SCB	2	90分×30回	履修	講義・通年	―

教員名	中村　嘉雄: NAKAMURA Yoshio
授業概要	英文法は「読む」「書く」「聞く」「話す」の英語4技能すべての根幹を成すものである。この授業では、1年次に引き続き、英文法の重要項目（不定詞、分詞、動名詞、関係詞、仮定法など）を学習していく。その際に、単なる文法説明に終始せず、語彙力を増強し、例文の理解と概念形成を通して、読解力や表現力の増強にも資するよう指導する。

到達目標	評価方法
（1）英文法の重要項目を理解し、それをもとに平易な英文を作成できること （2）英検準2級レベルの語彙、イディオムを理解し、用いることができること	前期は①中間試験（30%）、②期末試験（30%）、③小テスト（20%）、④口頭試問（20%）、後期は①課題テスト（20%）、②中間試験（20%）、③期末試験（20%）、④小テスト（20%）、⑤口頭試問（20%）によって評価する

学習・教育目標	(G)②	JABEE基準1（2）	

授業計画

回	項目	内容
第1	導入	授業の目的、意義、評価方法、評価方法などについて説明し、1年次の復習を行う
第2	不定詞（1）	名詞的用法、疑問詞＋不定詞
第3	不定詞（1）	S+V+O+不定詞、使役動詞・知覚動詞を使った表現
第4	不定詞（2）	不定詞の意味上の主語と否定語の位置
第5	不定詞（2）	形容詞的用法、副詞的用法
第6	不定詞（3）	不定詞のさまざまな形
第7	不定詞（3）	不定詞の注意すべき用法、独立不定詞（小テスト1を行う）
第8	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する
第9	分詞（1）	名詞を修飾する分詞、
第10	分詞（1）	補語になる分詞
第11	分詞（2）	have+O+分詞／see+O+分詞
第12	分詞（2）	分詞構文、分詞構文の応用
第13	分詞（3）	付帯状況を表すwith+（代）名詞+分詞、分子を使った表現
第14	動名詞（1）	動名詞の働き、動名詞のさまざまな形(1)（小テスト2を行う）
第15	まとめ	前期のまとめを行う

授業計画

回	項目	内容
第16	動名詞（2）	動名詞の復習、動名詞のさまざまな形（2）、動名詞と不定詞
第17	比較（1）	原級を用いた比較構文
第18	比較（1）	比較級を使った比較
第19	比較（2）	最上級を使った比較
第20	比較（2）	原級・比較級を使って最上級の意味を表す
第21	関係詞（1）	関係代名詞の基本（1）
第22	関係詞（1）	関係代名詞の基本（2）（小テスト3を行う）
第23	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する
第24	関係詞（2）	関係代名詞の基本（3）、関係代名詞の継続用法（1）
第25	関係詞（2）	関係代名詞の継続用法（2）
第26	仮定法（1）	仮定法過去、仮定法過去完了
第27	仮定法（1）	I wish～、as if～を使った仮定法
第28	仮定法（2）	if … were to [should] + 動詞の原形について
第29	仮定法（2）	ifが出てこない仮定法、仮定法を使った慣用表現や丁寧表現　（小テスト4を行う）
第30	まとめ	学習事項全体のまとめを行う。また、授業アンケートを行う

自学自習の内容	
関連科目	英文法 I
教科書	1. 総合英語フォレストForest 6th edition: Benchmark English Grammar in 25 Lessons, 2. 同Benchmark English Grammar More Drills（桐原書店）・・・1年次より継続利用
参考書	1. 総合英語フォレスト：Forest 6th edition（石黒昭博　監修・桐原書店）・・・1年次より継続利用
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。
副担当教員	
備考	英和辞典を必ず持参のこと。発音練習、音読励行。